

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 8 ACTA UROLOGICA JAPONICA August 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第8号 1984年8月

腎臓移植の研究	
IX. Perfluorochemical emulsion を用いた腎低温灌流保存の実験的研究…松崎 幸康…	995
泌尿器科レジデントがおこなった開放性腎生検の検討……………矢崎 恒忠・ほか…	1005
ニワトリの精巢内プロジェスチン標的細胞の局在	
オートラジオグラフによる検討(英文)……………清水 勘治・ほか…	1013
Flow cytometry による辜丸内精子形成能の評価判定	
第1報: ヒト辜丸組織内 DNA 量分布測定の基礎的検討……………川井 修一…	1021
泌尿器科領域における ^{99m} Tc-DTPA renoscintigraphy について	
第1報: 尿管結石疼痛時, のう胞腎および水腎症における検討……………和志田裕人・ほか…	1029
内分泌非活性副腎皮質腺腫の1例……………金森 幸男・ほか…	1039
後腹膜悪性神経鞘腫の1例 —本邦31例の統計的観察—……………岡村 菊夫・ほか…	1045
閉塞性無尿症例—1 側尿管の閉塞解除による対側尿路閉塞の改善—……………増田富士男・ほか…	1053
結節性硬化症に合併した腎血管筋脂肪腫の同胞2例……………加納 敬夫・ほか…	1057
腎癌孤立性肺転移巣の1切除例……………奥村 哲・ほか…	1063
エタノール動脈内注入療法で治療した腎動静脈瘻の1例……………早川 正道・ほか…	1069
腎盂内および尿管内にポリープ状の増殖形態を示した	
Congenital Mesoblastic Nephroma の1例……………松木 尚・ほか…	1075
膀胱肉腫5例の治療経験……………上門 康成・ほか…	1085
進行性尿路上皮癌に対する BVP 療法……………関根 英明・ほか…	1095
膀胱腫瘍に合併した原発性副甲状腺機能亢進症の1例……………梶川 博司・ほか…	1101
進行性辜丸腫瘍に対する Cis-diamminedichloroplatinum を	
中心とした併用化学療法……………奥村 哲・ほか…	1107
PVB 療法が著効した進行性セミノーマの1例……………山口 誓司・ほか…	1117
精索線維腫の1例……………吉貴 達寛・北山 太一…	1123
偏側閉塞腎尿中アミカシン移行濃度……………山崎 義久・ほか…	1127
Ceftizoxime (CZX), Cefoperazone (CPZ),	
Cefotaxime (CTX) の前立腺組織内移行に関する検討……………池田 滋・ほか…	1135

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文7頁(400字×28枚程度)図(Fig)10枚、表(Table)5枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または 山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す
 - (ii) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
 - (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)
雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
 - (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
 - (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
 - (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷
実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)